

全国大会で活躍誓う

鹿島学園高女子ソフト部

鹿嶋市長を表敬訪問



田口伸一鹿嶋市長（左から3人目）を表敬訪問した鹿島学園高女子ソフトボール部員ら＝同市平井

第42回全国高校女子ソフトボール選抜大会に出場する鹿島学園高（常井安文校長）女子ソフトボール部の監督や選手らが7日、鹿嶋市平井の市役所を訪れ、田口伸一市長に大舞台での活躍を誓った。

常井校長と神山里美監督、小川かりん主将（2年）、丸山瑠海副主将（同）の4人が訪問。小川主将は「自分たちらしく全力で戦う。つか

み取ったチャンスをもものに、レベルアップして帰ってきた」と抱負を語った。

田口市長は「自分の力を信じて、これまでの練習の成果を十分に発揮してほしい。先生方や家族、関係者の皆さまに感謝の気持ちを込め、全国の舞台で存分に戦ってほしい」と激励。市は同部に全国大会出場の報奨金（5万円）を贈った。同部は昨年11月に行われ

た県高校新人大会決勝で常磐大高を破り、全国選抜大会への出場を決定。大会は今年16日に静岡県富士宮市で開幕し、同校は同17日の2回戦で浦添商高（沖縄）と利府高（宮城）の勝者と対戦する。（松本篤史）